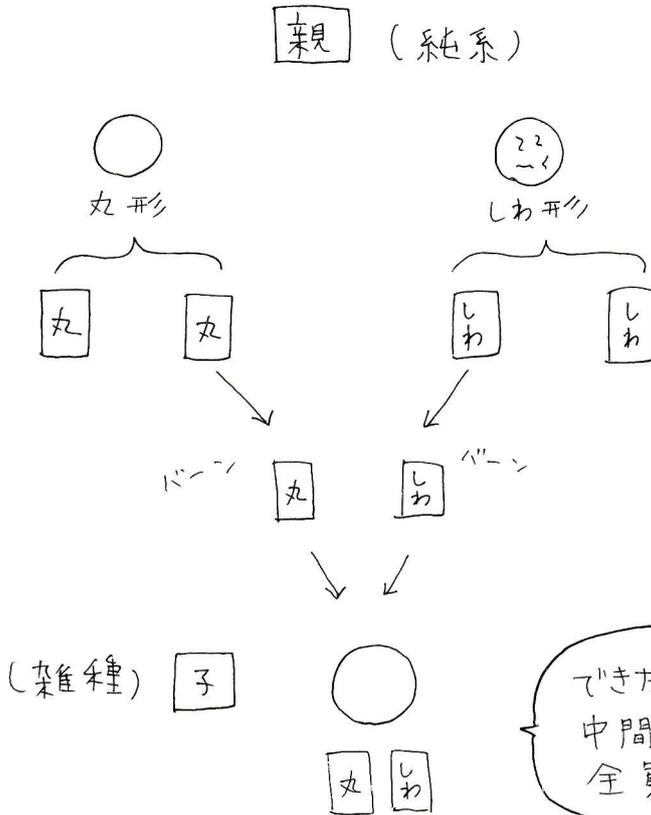


2. メンデルの実験を遺伝子で考える



種子の形を決める小情報は、2つ持っている (ニコイチで)

これらを1枚ずつ出しあって、子どもをつくります。

できた子どもは、丸としわの中間かできるわけではなく、全員丸形でした。

丸としわの小情報を2つ持っているのに かかわらず、丸しか出てこなかった。(出てくる方が強い)

↓
 (出てくる方の形質を (優性) という。丸)
 (出てこない方の形質を (劣性) という。しわ)

このとき、遺伝子の記号では、

- 優性 → 大文字で **A** ラージA
- 劣性 → 小文字で **a** スモールa

